



第318号
令和8年1月8日
瀬戸市立幡山中学校



イッパイアッテナが教えてくれたこと

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

2026年がスタートしました。今年は「丙午(ひのえうま)」の年です。60年に一度しか巡ってこない特別な年で、情熱や行動力が高まり、勢いのある一年といわれています。失敗を恐れず、何事にも挑戦してほしい。子ども達には、そんなチャレンジをたくさんしてもらいたいものです。

さて、今回は7日(水)の始業式で話した内容をお届けします。

さて、今日は、新年早々「勉強すること」について考えてみたいと思います。少し耳の痛い話かもしれません(笑)

正月に読んだ新聞記事で、ある言葉が目に留まりました。それは、「うれしいがイッパイアッテナ」です。みなさんは『ルドルフとイッパイアッテナ』という本を知っていますか?黒猫ルドルフが岐阜から東京へ出てきて冒険する物語で、幡山中の図書室にもあります。

子ども向けの本ですが、大人が読んでも深く考えさせられる内容です。主人公ルドルフは、ボス猫イッパイアッテナとの交流を通じて、自分らしく生きること、言葉を大切にすること、そして「教養」の重要性を学びます。

教養とは、社会で生きるための知識や経験のこと。物語では、イッパイアッテナがルドルフに人間の文字を教え込む場面が印象的でした。猫が人間の文字を理解できるようになるなんて!それほどまでに教養や学びが大切だとイッパイアッテナは伝えています。

作者の齊藤洋さんは、子どもたちへのメッセージとしてこう語っています。

「人生の中で、思うようにならないことが多い10代前半が一番大変で、場合によっては一生を左右する出来事もあるかもしれない。そんな時に一番頑張ってほしいことは『勉強』。勉強はつらいし大変。でも、そこで身につけたいいろいろな知識の中のどれかが、必ず君を支えるから。がんばれ!」

「何のために勉強するのだろう。こんなことやっても意味あるのかなあ。」と思うこともあるでしょう。でも、その理由を考える前に、まず目の前の勉強に全力で取り組んでみる。その先に必ず何かが見えてくる——そんなメッセージだと感じました。

新聞記事の最後に、齊藤さんはこう結んでいました。

「おめでとうは、自分でつくる!」

今年もきっといろいろな出来事があります。それをポジティブに乗り越え、「よく頑張った!」と自分で言える一年にしてほしいと思います。

ぜひ『ルドルフとイッパイアッテナ』も読んでみてください。

この本のあとがきで、この物語は、ひょんなことから手に入れた「ネコが書いた自伝」に、齊藤さんが題名をつけ、清書をして、講談社児童文学新人賞に応募したと書かれています。最後の最後まで、子ども心を忘れない、ユニークな方だなどと思いながら本を閉じました。

本年も、幡山中学校を、生徒とともによろしくお願ひいたします。

<参考> 『ルドルフとイッパイアッテナ』 齊藤 洋・作 杉浦 範茂・絵 講談社



I組 スポーツ交流会

12月4日(木)瀬戸市体育館

毎年恒例となっている、市内の特別支援学級合同の行事「スポーツ交流会」が行われました。開会式では、本校の生徒が司会を務め、会の進行を担当しました。学校の垣根を越えたチームに分かれて活動し、楽しみながら絆を深めることができました。



2年 職場体験

12月16日(火)・17日(水)

2年生は、瀬戸市近郊の各事業所に出向いて、実社会で「働く」体験活動を行いました。それぞれの希望や興味・関心に基づいて事業所を選択し、生徒はそれぞれ有意義な活動を行いました。普段の学校生活では経験できない貴重な体験となりました。



3学期の主な行事予定

1月 7日(水)
16日(金)～20日(火)
16日(金)
20日(火)
22日(木)
27日(火)
30日(金)
30日(金)
2月10日(火)～13日(金)
3月 2日(月)
6日(金)
24日(火)

始業式
進路相談【3年生】
瀬戸つばき特別支援学校との交流【1年生】
ボッチャを楽しむ講習会【1年生・I組】
新1年入学説明会【小6保護者】
新1年学校見学会【小6児童】
特別支援学級 卒業生を祝う会【I組】
キャリア教育 生き方講座【2年生】
学年末テスト【1年生・2年生・I組】
卒業生を送る会
第79回 卒業証書授与式
修了式



令和8年4月より、昇降口の開錠時間が8:15に変更となります。ご協力よろしくお願ひします。